

伴走型相談支援について

加賀市の伴走型相談支援と経済的支援：すべての妊婦に妊娠期2回の面接と産後乳児家庭全戸訪問事業によりすべての産婦の状況を把握して支援する。妊産婦のニーズに応じて専門職と関係機関連携による支援を実施。



妊娠期間（～10ヶ月）

出産

産後

1歳～2歳

3歳～

医療機関・市町で妊娠経過のフォロー

医療機関

医療機関・市町で産後のフォロー

関係機関・地域の社会資源と連携支援

妊婦健診
(14回分の助成)



産婦健診
(1回分の助成)



加賀市

妊娠届出
母子手帳交付

面接

妊婦健診回数無制限助成

妊婦健診多胎児(+5回助成)

妊婦歯科健診(1回)

出産応援ギフト(妊娠届出後)
(出産準備金申請)

面接



新生児聴覚
検査助成

乳児産婦健診
助成

4か月半児
集団健診

7か月児
離乳食教室

乳児健診助成

1歳6か月児
集団健診

3歳6か月児
集団健診

妊娠・出産・子育てライフプラン

出産準備手当(胎児1人に1万円) 面接

乳児家庭
全戸訪問

子育て応援ギフト
(出産後) 面接



妊娠期パパママ教室
「からだと食事編」「出産育児編」 面接

産後ケア事業(宿泊・訪問・通所)

乳幼児健診
遊びの教室
ねんねナビ

産前家庭支援ヘルパー派遣事業

産後家庭支援ヘルパー派遣事業

母子保健・児童相談グループの連携した支援（養育支援訪問・電話・面接等）

子育て応援ステーション

妊娠から出産、子育ての切れ目ない支援

かかりつけ助産師による相談支援事業

母乳哺育支援 助産師の訪問等による母乳ケア

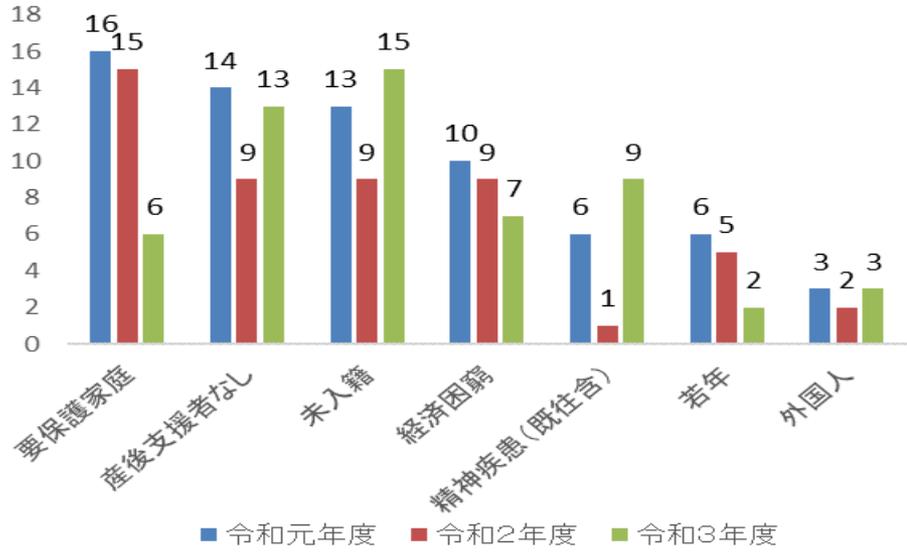
ハイリスク妊産婦保健医療連携 医療機関・市等と連携したハイリスク妊産婦への支援

発達相談
ペンギンケア
事業 1

伴走型相談支援について ～産前産後の現状と課題～

産前～産後

特定妊婦内訳



○特定妊婦の状況(R4.12現在:16名)

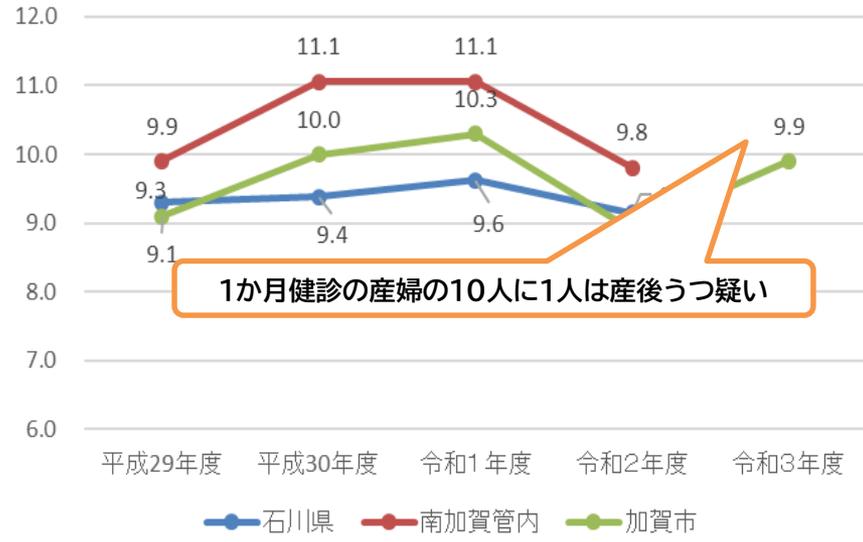
- ・相談相手がない(産後支援なし7名)
- ・望まない妊娠により相談できない(望まない妊娠3名)
- ・経済的困窮のため受診できない(経済困窮7名)



- ・妊娠届出が遅れ、支援に結びつきにくいいため、**妊娠初期から全ての妊婦が相談できる体制**が必要
- ・早期に受診できる**経済的支援**が必要
- ・経済的困窮があり、交通の便が悪い妊産婦への**交通費の支援**が必要

産後～子育て期

産後うつ疑いの割合(産後1か月健診)



○産後から子育ての現状

- ・支援がない、不安が強い人など産後ケアを集中して使いたい回数制限がある
- ・退院後、1か月健診まで医療機関の産婦健診がない

産後うつ疑い=EPDS9点以上



- ・産婦健診の**時期**や**回数**の検討が必要
- ・産後ケアが必要な人に**必要となる回数**の設定

伴走型相談支援について ～産前産後ケアの充実について～

子育て応援ステーションでは、

・母子健康手帳交付の際の来所が、妊婦の方との最初のお会いとなり、保健師・助産師による心身の相談や産前産後の必要な母子保健サービス等の情報提供を行っている。

・国に先駆けて実施しております市独自の出産準備手当給付事業申請時にも、全ての妊婦に面接を行うことで、サービス利用を悩んでいた妊婦の方が、利用の必要性等を理解し、利用につながることも増えており、妊娠期における2回の面接は、不安解消にも有効であり、大変重要な機会となっている。

○妊娠かなと思う段階からのかかわりの検討

○若年、貧困等で、初回の妊婦健診の自己負担や自分で交通手段の確保が困難な人にも支援が届く方法がないか等支援メニューの検討

○産後うつ等の増加に伴う、妊娠期に加え産後の医療機関や医療従事者との連携強化の検討

伴走型相談支援について ～子育て支援の現状と課題～

ニーズ:定期的に安心できる機会(気に留める)が欲しい。

ママの声(育児サークル等)

産後、乳児期(1歳まで)は何となく不安な思いがずっとある。

- ・出産後、保育園に入るまでが心細い。
- ・健診の場面でもっと相談をしたい。
- ・同月齢が集う集まりで子育てのことや発育について知りたい。
- ・いろんな集まりがあるが、どれに参加すればいいか。

ズレ

・乳児期は不安が強い

・入園前や仕事復帰前のママの孤立感

行政担当者の声

発達や保護者の不安が強い場合は継続的な支援をしている。

- ・1歳までは、発達の差、断乳、離乳食、考えないといけない事がたくさんある時期で不安があると思う。
- ・健診では、コロナ禍もありあまり長く話を聞く環境ではなかった
- ・発達上、気になる児には、月1回の電話や乳児相談等個別に関わっているが・・・

◎乳児期の子育てメニューは行政や地域資源も含め、メニューはあるが、どれに参加したらいいか分からない・迷ってしまう。

→乳児期に定期的に子育てや成長等の見守りや相談支援が必要